

霜月Ⅱ文字通り霜の降りる季節。七日が立冬、二十二日は小雪と、十月半ばまで夏日が続いていましたが、秋本番の気候と共に、冬の気配が感じられる季節となってきました。三日は「文化の日」。元々は「明治節」と言い、日本の近代化を推し進められた明治天皇の誕生日を祝う祝日でした。同様に二十三日の「勤労感謝の日」も元々は「新嘗祭」という一年の収穫を神様に感謝するお祭の日で、転じて勤労を尊び生産を祝う祝日となっています。

人の一生には様々な儀礼があります。安産祈願・初宮参り・お食い初め・初節句・立志式（十五祝い）・成人式等々。七五三詣もその一つで、三歳の男女児は「髪置」と言って、この日から髪を伸ばし始めました。五歳の男児は「袴着」で袴を着け始め、七歳の女児は「帯解」で紐付きの着物から帯で締める着物にかえ、晴れて一人前として扱われるようになります。そして、乳幼児期の大変な時期を氏神様の御加護で無事に成長したことを報告し、これからの御加護を祈ります。私たち日本人は、成長の過程の節目ごとに充実した人生が送れるよう、神様に感謝と祈りを捧げ、常に神様との御縁を持ち続けていくのです。

今月の行事

- 一日 いいおか幼稚園 入園願書受付く 四日メ切り
- 二日 十三夜（栗名月）
- 三日 文化の日・明治節
- 八日 いいおか幼稚園 飯小フェスティバル出演
- 一三日 七五三詣
- いいおか幼稚園 七五三参拝
- 二三日 勤労感謝の日
- 新嘗祭（神職・総代にて齋行）
- 三〇日 正月例祭祭典委員会
- 当番区長会 一〇時〇〇分く



十二月上旬より「お正月様」が頒布されます。